

第355号 平成28年11月

# 東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

立川市柴崎町3-5-24  
TEL 042-525-0780

## 京都市の農業委員会活動などを研究

### 認定農業者の経営を現地研究

農業委員会会長研究会

都農業会議は10月27、28日の2日間にわたり、京都市において農業委員会会長研究会を開きました。

この研究会には都内31区市町村から、農業委員会長や職員あわせて54人が参加しました。

1日目は京都駅前前の施設で室内研修を行い、はじめに京都市農業委員会の担当者か



京都市農業委員と活発な意見交換を行った

ら、京都市の農業振興施策や農業委員会活動について説明を受けました。

その後、京都市の農業委員と都内農業委員の意見交換を行い、新制度のもとでの農業委員会の体制づくりや、農業委員会が主体的に取り組む農業振興活動などについて活発に意見交換をしました。

遊休農地対策については、京都市では市街化区域以外の地域において利用権設定を積極的に進め、成果があがっているとのことでした。

また、6次産業化や後継者の配偶者確保対策についても都内と京都市の事例をそれぞれ発表しました。

2日目は京都市の西京区大原野地域において現地研究を行い、はじめに農業委員で認定農業者でもある

齋藤治喜さんのシロナ栽培を見学しました。

齋藤さんは「1日も休まずに出荷すること」を目標に、市場出荷やデパートへの契約出荷を行い、東京の市場へも出荷しています。シロナは1日平均、600、700束を出荷することでした。

また、土づくりを重視し、粘土質で野菜栽培に適さなかった農地を客土や排水対策の徹底で改善し、今は安定した生産ができていると話しました。

平成29年度の事業・予算の構想などを協議

都農業会議は、11月15日に農業委員会長・区市町村主管



来年度の事業・予算について協議をした

地域の新規就農者の受け入れにも積極的に協力し、世話的な活動でサポートしていきます。

さらに、この日は京都市開発野菜種子配布センターの栽培施設も見学しました。



齋藤治喜さんのシロナ栽培を見学

### 第2回事業推進協議会開く

課長および学識経験者・農業団体会員75人の出席を得て、第2回事業推進協議会を開きました。

協議では、平成29年度農業会議事業・予算の構想等について説明しました。

また、東京都農業振興課の松川課長より、東京都農林・漁業振興対策審議会答申についての報告がありました。

### あぜみち

「できるだけゆっくり前に進む」は、スピード社会の現代では、難しい命題だ ◆30数年前、キリマンジャロで『ポレポレ(ゆっくり)歩け』と、5日間言われ続けた。気は急ぐが、高山病予防の高度順応のため ◆パーティー仲間は、立ち止ってはベチャクチャしゃべり、後ろを振り向きながら腰を伸ばした。次第に意志の疎通と思いやりを深めた。 ◆酸素が希薄になり、激しい二日酔いのように頭痛が増す中で、互いに『ポレポレ』と声を掛け合い、8人が5200メートルのピークに立った。感謝と満足感で不覚にも涙が溢れた。 ◆現在、社会の評価は数値結果のみを重視する。コスト削減、組織見直しの大合唱だ。 そのような中、大地に立ち悠久の時と陽の光りを浴び、達成感・満足感に浸れる農作業に優るものはない。そこに農業の価値がある。

### 沖永良部島・奄美大島で

### 切花や柑橘の栽培などを研究

11月16日から18日にかけて、島嶼農業協会協議会（沖山慶孝会長）は、ふるさと東京むらづくり塾との共催で



ランの切花施設を視察する参加者

島しょ農業振興検討会開く

「島しょ農業振興検討会」を開きました。

今年、鹿児島県の沖永良部島・知名町と奄美大島・奄美市を訪問し、農業委員会活

### 先進的な取り組みや経営を現地研究

#### 西多摩地区農委会連合会 南多摩地区農委会協議会

西多摩地区農委会連合会では、各市町の農業委員会長など14人が参加し、10月4日（5日）に、視察研修会を実施しました。親子兄弟4家族で営

農場、新潟市の食べる通信稲花の取り組み、食育などに取組む新潟市アグリパークを現地研究しました。

### 足立区の学校給食の取組みなどを研究

#### 農業委員会経営関係部会長研究集会

都農業会議はこのたび、足立区農業委員会（荒堀安行会長）の協力により、同区内において「学校給食への積極的な出荷で安定した農業を目指す経営」をテーマに経営関係部会長研究集会を開きました。



千住ネギを栽培している小学校を見学

現地見学では、区立栗原北小学校を訪れて江戸東京野菜の「千住ネギ」を栽培している様子を見学したほか、学校給食向けに野菜を積極的に出荷している宇佐美一彦さんのコマツナ生産を見学しました。



新潟県で広い水田を背に代表から説明を受ける

### 常設審議委員会だより

#### 第7回常設審議委員会

平成28年10月17日にJA東京第1ビル会議室で開催し、状況は次のとおり。

#### 報告

①9月16日～10月16日の都農業会議主要業務および今後の会議などの開催計画を説明。②9月の転用許可状況を東京都が報告。③平成28年度企業

#### 説明

東京都農林水産物認証取得支援事業（GAP認証の取得支援と推進）について、（公財）東京都農林水産振興財団の地産地消・オリンピック・パラリンピック関連事業推進課長の橋本良子氏から説明があり、事業の周知をはかるものとした。

#### 第8回常設審議委員会

平成28年11月15日に中野サンプラザ会議室にて開催し、状況は次のとおり。

#### 報告

①10月17日～11月14日の都農業会議主要業務および今後の会議などの開催計画を説明。②10月の転用許可状況を東京都が報告。

#### 協議

①第56回企業の農業経営者頭等と第36回農業後継者頭等の候補者に農業会議会長賞の交付を決定し、

特に優秀な経営は、東京都知事賞、全国農業会議所会長賞、東京都産業労働局長賞の候補として交付申請することも併せて決定した。

当面の農政問題では、現在政府で検討中の農政課題として「農林水産業骨太方針策定PT」などの検討状況および「農林水産物・食品の輸出の現状」を説明した。

### 新規就農者の経営など研究

#### 新規就農地見学会開く

東京都農業会議は、新規就農希望者などの参加者を募集し「東京都内の新規就農地見学会」を10月21日に瑞穂町で、11月18日に青梅市でそれぞれ開きました。

両日とも20人程度の参加があり、マイクロバスで新規就農者の農地をまわり、新規就農の経緯や現在の状況などについて話しを聞き、参加者からの質問を受けました。

瑞穂町では、8人の新規就農者をまわり、武蔵地区では、5人(一軒は夫婦)の新規就農者が集まり、まとまって話しを聞くことができました。瑞穂町では、新規就農者が「東京みずほファーマーズわかば組」というグループを



畑での栽培状況などをする瑞穂町の新規就農者の井垣美穂さんと(右)と新規就農者

結成し、マルシェなどにも定期的に取り組んでいることか

### 青梅市の農業を消費者が見学

#### 農業応援バスツアー

消費者に農業への理解を深めてもらおうと、このたび青梅市において農業応援バスツアーが開かれました。

東京都農業経営者クラブと東京都消費者月間実行委員会との共催による企画で、青梅市と青梅市農業経営者クラブが協力しました。

バスツアーには農地のない23区内からの参加者も含め、募集に応募した36人の消費者が参加しました。

一行は、野菜を生産する中村芳男さんのキュウリ栽培ハウスや、酪農を営む吉田欣司さんの牛舎、きのこ類を原木栽培する内沼秀夫さんのシイタケ栽培を見学しました。

見学後は室内に移動して青梅市農業経営者クラブの会員農家を交えた意見交換を行いました。

ら、見学会参加者からは、行政のサポートと仲間づくりについて「とてもよい環境で就農できていると感じた」などの声がありました。



内沼きのこ園できのこの生産現場を見学

### 全国農業担い手サミットが岐阜で開かれる

第19回全国農業担い手サミットinぎふが11月10日、11日に、岐阜県において開かれました。「広げよう!つなげよう!未来の農業へ」をテーマに、全国から約2600人の認定農業者などが参加しました。

10日の全体会式典には、皇太子ご夫妻がそろうて出席され、全国優良経営体表彰の授賞式や岐阜県内の女性担い手

### 農地法の適用除外のなかでの

#### 農業委員会活動を研究

#### 小笠原村農業委員会

小笠原村農業委員会(早川保会長)は、本年5月1日より、改正農委法のもとで新たに農業委員が同村長より任命され就任したことを受けて(農地利用最適化推進委員の委嘱なし)例外規定より)11月2日に母島で新任農業委員研修会を開きました。

小笠原村は父島と母島の2島に住民があり、今回は、母島の女性農業委員2人が父島に渡り、父島の農業委員とともに研修会に参加しました。小笠原村は、戦後アメリカに統治され、日本に返還がされた後に住民などが帰島して



母島で折田農園を現地研究する辻井委員(左)と森本委員(中央)

住したという歴史から、小笠原諸島振興開発特別措置法により、農地法の適用除外の地域とされています。

研修では、都農業会議の職員が、農地法の適用がない小笠原村での農業委員の活動や役割などについて説明をし、農業委員会からは、新規就農者を増やすための住居の確保や農地が他用途に使用できる状況のなかでの農地の確保(利用権の設定)の難しさなどがあげられ、農委会で今後法に基づく意見提出を進めたいとの意見が出されました。

また、3日には父島の女性農業委員が母島の農業事情について現地調査を行いました。



全国優良経営体表彰式で表彰を受ける八丈町の菊池寛さん

### 長野県中野市で農園利用者が

### リンゴの収穫などを体験

#### 全国農業体験農園協会

全国農業体験農園協会（加藤義松理事長）は、11月7日に、農園利用者を対象とした長野県中野市の池田農園訪問ツアーを開き、応募した45人の利用者が参加しました。

まず、農産物直売所の信州中野いきいき館に立ち寄り、長野県の特産品の果物やキノコなどを中心に加工品なども多数取り揃えた店内を見学しました。

池田農園では、まず自家製のジャムや漬物などを味わえる昼食会を開きました。新鮮なリンゴのほかブドウや柿な

### 農業委員と市議会議員が意見交換

#### 町田市農業委員会 日野市農業委員会

町田市農委会（吉川庄衛会長）は9月28日に、日野



認定農業者の経営を見学

どが振る舞われ、参加者どうしの親睦を深めました。収穫体験では、シナノスイートや群馬名月など様々な種類のリンゴを収穫し、参加者は多くの木からひとつひとつ丁寧にもぎ取っていました。

その後、小布施の散策を行いました。歴史を感じる街並みを見学するなど参加者に

### 改正農業委員会法の対応などについて研究

#### 東日本ブロック農委会職員現地研究会

全国農業委員会職員協議会は、10月13日から14日に

かけて、岩手県盛岡市にて平成28年度東日本ブロック農業委員会職員現地研究会を開き、都内からは、2人の農業委員会職員が参加しました。

市農委会（遠藤貴義会長）は11月18日に農業委員会と市議会議員との懇談会を開きました。

両市とも認定農業者の先進経営事例を見学し、農業者から説明を受けました。苦勞していることや工夫など質問がされ、農業委員と農業振興などについて意見交換をしました。



リンゴを収穫する参加者

とって充実したツアーとなりました。

### 国分寺市農委会が地区座談会を開く

国分寺市農委会（榎戸岩男会長）は、11月の4日間の夜間に、市内4地区で農業者座談会を開きました。

地域担当の農業委員の進行により①9月から10月に行われた農地利用状況調査の報告、②農業委員会委員選任方法の変更について説明がありました。

農地の適正利用のほか、来年7月の農業委員の選任については、改正点と選任方法の考え方、スケジュールなどについて事務局より説明がされ、農業者に理解と協力を求めました。

状況報告として、農業会議より現在の都市農政の状況のほか、都市農業振興基本計画についてや、農業振



挨拶をする国分寺市農業委員会の榎戸会長

\*\*\*\*\*

### 12月～1月の日程

- 12・1 (木) 全国会長集会
- 12・2 (金) 区内職員検討会
- 12・6 (火) 北北職員検討会
- 12・7 (水) 北南職員検討会
- 12・8 (木) 北西職員検討会
- 12・13 (火) 南職員検討会
- 12・16 (金) 常設審議委員会
- 12・20 (火) 農委・推進研究
- 1・17 (火) 常設審議委員会
- 1・18 (水) 島しよ検討会
- 1・19 (木) 区内農委検討会
- 1・20 (金) 北北農委検討会
- 1・25 (水) 北西農委検討会
- 1・27 (金) 南農委検討会
- 1・30 (月) 北南農委検討会
- 1・31 (火) 西農委検討会